ビジネス行動規範

Empowering Trust®

ビジネス行動規範
ULにおける誠実性と敬意

CEOからのメッセージ	3
誠実性が信頼を生む	4
ULの事業に対する敬意	8
資産に対する敬意	13
人と地球に対する敬意	16

社長兼CEOからのメッセージ

ULは、コアとなる価値観を実践することで、信頼を高めています。それは誠実性、競争、協調です。世界をより安全、安心かつ持続可能なものにするというULの使命を成功させるには、ULの人員すべてが、その一切の行為において誠実性と敬意を持って行動することにかかっています。誠実性、事業に対する敬意、資産に対する敬意、人と地球に対する敬意についての原則を強化し、明確にするため、ここにULにおけるビジネス行動規範の最新版をご紹介することを光栄に思います。

ULのビジネス行動規範は、これらの原則に則ってどのように行動するべきかについて説明し、私たちが行動を制御する上での手助けとなります。これには、次のような誠実性の基準が含まれます。

- それは真実ですか？
- それは公平ですか？
- それは適法ですか？
- それは規則を遵守していますか？

また、懸念事項を報告する方法、支援を求める方法のほか、誠実性および敬意に対する脅威への対応、並びに信頼を生む方法によって事業を遂行することについて、その指針をも提供するものです。

ビジネス行動規範を読み、これについて考えてみてください。これらの基準は、あなたが自信を持って行動し、世界をより安全、安心かつ持続可能なものにするという私たちの使命を果たすための助けとなるでしょう。

ジェニファー・スカンロン

誠実性が信頼を生む

信頼は、ULが事業を行う上で決定的に重要です。信頼は最も価値のある通貨ともいうべきものであり、これを守る組織は、これにより競争上の優位性を手にすることができます。だからこそ、信頼されるブランドであることが、ULにとって決定的に重要なのです。

ULは、科学的リーダーシップと、誠実性に基礎づけられた開放的で順応的な個性を通して、お客様にとって決定的な意義をもつ課題を解決することにより、一貫して信頼を得ております。誠実性は信頼に欠かせないものです。誠実性を基盤として、ULの仕事や企業文化が形成されており、人材や見込み客を惹きつけ、イノベーションを促進し、将来のチャンスを獲得することができます。ULファミリーの各自が、誠実性を持って業務を遂行する必要があります。

誠実性というULのコアバリューは、信頼を生みます。私たちは一切の事に誠実に取り組んでいます。私たちは真実を求め、語るものとします。私たちは、外部からの政治的・商業的圧力に屈する事なく、私たちの使命と真実に忠実であり続けます。私たちは、人々から信頼されるように行動します。ULは、開放的な順応性をもち、信頼を基盤としています。

誠実性の基準

ULのために活動する者すべては、その言動を誠実性の基準により評価することが求められ、義務付けられています。ULのために何らかの決定をする前に、次のことを自分自身に問いかけてみてください。

- それは真実ですか？
- それは公平ですか？
- それは適法ですか？
- それは規則を遵守していますか？

これらの質問の答えがイエスなら、あなたは誠実に行動していることになります。

誠実性を維持するための基準

ULのビジネス行動規範は、誠実性を確保するための行動の原則と指針となります。このビジネス行動規範は、ULの人員すべてが誠実に業務を行い、事業、資産、人々や地球に対して敬意を払うための基本的な義務と責任を定めています。

このビジネス行動規範は、ULとその関連会社の従業員、役員、幹部、およびULの代理人や仲介者として働く第三者を問わず、ULのために働くすべての人に適用されます（本書では今後、ここで列挙した者すべてを「関係者」と表記します）。

ULは、その関係者が適切に行動することを求められ、義務付けるものとします。その行動は、誠実性の基準を満たし、ビジネス行動規範に適合している必要があります。

さらに、ULのリーダーは、以下の方法により、誠実性と敬意に基づく企業文化の構築、維持、育成に尽力するものとします。

- チームが誠実に行動し、ビジネス行動規範を確実に遵守できるように奨励し、支援する
- 人事部、法務部およびULの他部門と協力して、ビジネス行動規範の順守を継続的に実施する

遵守義務

ULのすべての関係者は、以下を遵守することが求められ、義務付けられています。

- ULビジネス行動規範
- ULの方針および手順
- 勤務地における地域および国の法令
- 適用される業界団体、専門組織、試験スキームの主体が設定した規則と要件

すべての関係者は、ビジネス行動規範、ULの方針および手順、適用される業界規則、並びに適用法令の違反につき責任を負うものとします。マネージャー、幹部、リーダーは、彼らの下で働く人々がビジネス行動規範や法律に違反した場合、その責任を問われることがあります。従業員がビジネス行動規範、ULの方針、業界規則、または法的義務を遵守していないとULが判断した場合、解雇を含む懲戒処分を行うことができるものとします。ULは、適用法、およびULの雇用・契約方針に従って、懲戒処分を実施します。

すべての関係者は、ビジネス行動規範を遵守する義務があります。

報告義務

すべての関係者は、誠実性に関する懸念事項または問題を速やかに報告する義務があります。ビジネス行動規範に対する違反の可能性や、その他非倫理的・違法・不適切な行動がある場合は、マネジメントまたは倫理・コンプライアンス部門に報告しなければなりません。リーダーは、疑わしい行為の報告に適切に対応し、エスカレーションすることに加え、機密性を維持し、報告者および目撃者が懸念を提起したことで制裁または処罰を受けないように保護することが求められています。

報告のためのリソース

ULの倫理・コンプライアンス部門においては、次のメールにて質問および懸念事項を受け付け、対応しています：**ethics@ul.com**。

グローバル倫理ヘルプライン

オンラインにて懸念事項を報告する場合、**www.ULglobalethics.com**にアクセスしてください。報告は、ウェブフォームで提出するか、またはグローバル倫理ヘルプラインのページにある国別の電話番号に電話することで実施することができます。このヘルプラインは、第三者であるサプライヤーが担当しており、あなたを支援してくれます。外部ヘルプラインのウェブフォームを利用する場合、またはULの第三者サプライヤーに電話で報告する場合、ほとんどの懸念事項については匿名で提出することができます。

報復の禁止

ULは、起こりうる問題および潜在的な問題についての報告を歓迎し、誠意を持って発言する人々を保護します。問題を報告した者は誰であれ、ULのビジネス行動規範またはその他の適用される方針、法律もしくは規則に対する違反が発生していると報告者が合理的に考える事柄について、申し立て、懸念の提起、質問をすることにより、罰せられ、懲戒されることはありません。

調査

すべての報告は真摯に受け止められ、適切に調査が行われるものとします。調査中、ULの調査員は、事実と証拠を収集し、何が起こったかを確認し、その活動や出来事が、ULの価値観、ビジネス行動規範、方針または手順に違反していないかどうかを判断します。すべてのULの関係者は、調査に協力しなければなりません。

ULは、誠実性に関する質問および報告を歓迎します。
ethics@ul.comに電子メールを送るか、
www.ULglobalethics.comにアクセスして質問や報告をお寄せください。

ULの事業に対する敬意

ULは、世界をより安全、安心かつ持続可能なものにするためのサービスや情報を提供しています。ULのお客様をはじめ、ULマークが付いた製品をお使いの皆様より、日々私たちが行う業務に信頼が寄せられているのです。従って、ULのレポート、データ、記録はすべて信頼できるものでなければなりません。ULの評判と事業は、誠実性のある意思決定、成果物、記録によって維持され、守られています。

真正であり、正確かつ完全な記録、報告書、文書

すべての関係者は、ULの事業情報の誠実性と正確性に責任を負っています。ULにおいては、いかなる形式であっても、入力または作成された文書、データ、記録が正確で、誠実で、完全なものであることが求められ、義務付けられています。ULの関係者は、文書、データ、記録、または業務情報の改ざんは決して行ってはなりません。

会計および財務記録

経費報告書、タイムシート、請求書、発注書、領収書を含む会計・財務システム、帳簿・記録のすべての入力内容は、適用される規則や方針に従って、実際の取引や出来事を正確に反映したものでなければなりません。すべての入力内容は完全なものでなければなりません。資金、資産、負債、費用に関する虚偽の申立は許されません。

適合性評価の文書化

独立した第三者適合性評価機関としてのULの認可と評判を維持するには、正確で誠実な文書と記録が必要です。場所、時間、関与者全員などの、適合性評価報告書のすべての記載事項は、真実かつ完全なものでなければなりません。適合性評価要件に関する質問は、適切な技術者または管理者に照会してください。

記録の保持と管理

ULは、業務上必要であるか、法律や認可に必要とされている情報については、業務記録を保持するものとします。関係者は、使用されなくなった情報を適切に廃棄しなければなりません。ULは、業務記録の作成、維持、保持、管理、廃棄に関する要求事項を定めています。法的保留（リーガル・ホールド）などにより、文書の保存を正式に要請された文書や情報は、保存と廃棄の標準ライフサイクルの例外となります。

すべての関係者は、ULの文書、記録、データ、およびその他の業務情報の誠実性と正確性に責任を負っています。

利害相反

関係者の業務外の活動や個人的な関心事が、ULを代表して行われる業務や業務関連の意思決定に干渉し、または干渉していると考えられる場合、ULの誠実性が問われる可能性があります。個人的な利害や相反する忠誠心が、関係者の判断に影響を及ぼすことがあってはならず、ULの最善の利益を阻害してはなりません。ULの関係者は、利害相反を回避し、実際の利害相反と潜在的な利害相反を開示し、外部の人間関係や個人的な利益に影響される可能性がある場合には、ULのために意思決定を下すことを回避しなければなりません。

公平性

ULは、第三者適合性評価サービスを偏りなく提供することで、独立した適合性評価機関としての公平性を維持することとします。ULの関係者は、お客様およびサービスの結果に関心を持つ他者からの独立性を維持しつつ、客観的にサービスを提供することが求められています。ULは、適用される方針に従って、公平性に対するリスクを積極的に特定し、管理することとします。

業界団体、産業団体、専門家団体、公共安全団体、慈善団体

ULでは、関係者が自らの専門性を高めるために、業界、産業、または専門家の団体や活動に個人として参加することを奨励しています。また、ULの関係者は、消防士のグループなどの公共安全に関連する他の組織または環境保護団体などの慈善活動を行う団体に参加することもできます。関係者が会合に参加し、会議で発表し、個人の立場でULでの業務に関連したプロジェクトまたは課題に取り組む場合は、ULの方針に従って管理者に相談しなければなりません。

政府の役務、委員会、または役職

ULの関係者は、ULに勤務しつつ、公職に就くことができますが、当該公職について、適用される方針に従って、ULの管理者に開示しなければならず、ULでの業務とは無関係である必要があります。

公正かつ適法な事業慣行

ULの関係者は、適用される法律に従って公正にすべての業務を行うことで、信頼を築き、より安全で持続可能な世界を目指すULの使命を支援することで、ULの評判を高めるものとします。ULの関係者は、国内外で公正かつ適法に業務を行うことで、地球市民意識を示し、誠実に行動しなければなりません。

競合情報分析

ULでは競合他社の強み、弱み、および能力に関する情報の価値を認識しており、これらの情報を誠実に、かつ適用法令に従って収集し、使用するものとします。ULの関係者は、市場で公正にふるまうことが求められ、義務付けられています。

公正な競争と独占禁止

ULは、公正で開かれた競争と自由市場経済の実現に取り組むものとします。ULの関係者は、競争の制限、価格の固定もしくは設定、顧客、地域、市場の分割もしくは配分、生産もしくは販売の制限、特定のサプライヤーもしくは顧客のボイコットその他取引の不当な制限を行う内容となる競合他社やサプライヤーとの公式または非公式の合意を直接的にも間接的にも締結することなく、事業上の意思決定を行わなければなりません。ULの関係者は、公正な競争の原則に反する状況を回避しなければなりません。独占禁止法や公正競争法は複雑で国によって異なるため、ULの関係者は、上司や法務部に指示を求めることが求められます。

営業とマーケティング

ULは、誠実に営業・マーケティング活動を行うものとします。ULの関係者は、誠実な広告、ラベリング、文献、対外的な公表など、ULのサービスを誠実に説明して事業を推進するものとします。ULは、競合他社を差別し、または不当に批判しないものとします。ULの関係者は、不公正な方法で優越的な地位を得てはなりません。

マーケティングや販売戦略のサポートは、適用される方針に基づいて取り扱われなければなりません。法令に関する質問は、法務部に問い合わせてください。

貿易管理、制裁およびボイコット

多くの国では、他国の政府や特定の企業、組織、個人との貿易を制限または禁止する法令があります。非政府団体が、特定の事業体に対してボイコット（または取引拒否）を行うことがあります。ULは、貿易管理法、制裁法令、ボイコットへの参加に関する法律など、ULが活動する国や地域社会の法律を遵守するものとします。ULの関係者は、適用される貿易管理法、制裁法、ボイコット法について法務部に相談することが求められ、義務付けられています。ULの関係者は、政府機関と取引を行う際には、適用される規則や方針に従わなければなりません。

ULは贈賄を禁止しています。

贈賄・汚職

贈賄、すなわち、行動の誘因として価値のあるものを申し出、約束、与え、受け入れ、または勧誘することは、多くの場合、違法であり、かつ本質的に不公正な行為です。汚職、すなわち、私利私欲のために委託された権限を濫用することは、背任行為と定義されます。贈賄と汚職は、誠実性とは正反対のものであり、ULの使命に反するものです。また、贈賄は全世界で違法となります。このような理由から、ULは贈賄と汚職を禁止しており、これはいかなる事情においても許されません。

ULは、いかなる形であれ、賄賂、違法なキックバック、または内密その他不正な支払いを認めません。ULの関係者は、いかなる種類の賄賂も直接、間接を問わず、申し出、支払、勧誘、受け取ることはできません。ULの従業員および代理人は、適用される方針に従って、賄賂の勧誘または要求があれば、これを報告しなければなりません。ULは、提携しているサプライヤーその他の者に対し贈賄または汚職がないことの保証を求めるものとします。

金銭やその他の価値ある物品の授受は、賄賂と誤解されるおそれがあります。ULの関係者は、ULの方針に従ってのみ、お客様やサプライヤーとのささやかな贈答品の授受や慈善寄付を行うことができます。グローバル企業として、ULは事業を展開するあらゆる場所で、贈賄防止および汚職防止の法令を遵守しています。ULおよびその関係者は、ファシリテーションペイメント（政府の定められた業務遂行を促進するために政府職員に金銭を支払うこと）は行わないものとします。ULの関係者は、政府関係者や慈善団体に金銭、贈答品、接待、その他の価値ある物品（教育の機会を含む）を提供する前に、適用される方針に従って管理者と協議しなければなりません。

資産に対する敬意

ULの関係者は、ULまたはそのお客様が保有する材料、供給品、機器、および知的財産へのアクセス権を持つ場合があり、ULはあらゆる種類の資産に対する権利を認識するものとします。お客様はULを信頼し、試験用サンプル、ULのソフトウェア内の情報、機密設計、試作品などの資産をULに託しています。お客様またはULその他の者が所有する資産を悪用し、私物化することは禁止されています。

資産の使用

ULの関係者は、UL、お客様その他の者の資産を預かっています。これらの資産は、有効な事業目的とULの利益のために使用されなければなりません。ULの関係者は、金銭、設備、在庫、事務用品、装置などの有形資産、ブランド、営業権、商標、著作権、特許、その他の知的財産などの無形資産を含め、ULまたはそのお客様が保有する資産を尊重し、保護するものとします。ULの関係者は、他人や自分自身の個人的な利益を得るために、他人の資産を取得し、または使用してはなりません。

金品

ULにおいては、ULまたはお客様の所有物である金品を持ち出し、または私物化することを禁止しています。

機会、ブランド、営業権、影響力

ULのブランドまたは事業機会は、創業以来築いてきた信頼・評判・関係性により、構築されています。ULの名前と影響力は、ULの事業に関連してのみ使用されるべきものです。関係者や他者がULのブランドや名前を他の目的で使用することは認められていません。ULの関係者は、適用される方針に従って承認を得ることなく、ULが利用可能な事業機会を、獲得または私物化することはできません。ULの関係者は、自分の意見を述べる際には、ULの代表としてではなく、個人の意見を述べていることを説明しなければなりません。

施設、設備、材料、および供給品

コンピューターや電話などの設備、材料、供給品、装置は、ULのために業務中に使用すべきものです。電話やインターネット検索など、個人的な目的のための最小限の使用は許可されていますが、個人活動がULでの業務の妨げになってはなりません。

マークおよび知的財産権

ULの知的財産権は、ULの使命と事業に不可欠なものです。ULの認証マークは、許可されたお客様が、ULの認証を受けた製品についてのみ使用することができます。ULの関係者は、適用されるポリシーに従って、ULのマーク、偽造品、その他の知的財産権の不正使用を報告しなければなりません。

ULの関係者が、ULのために業務に関連して作成し、またはULのリソースを使用して作成した知的財産は、ULに排他的に帰属するものとします。

機密情報

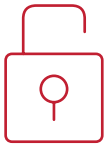
ULは、未公開情報や一般には容易に入手できない情報に依拠しています。ULの関係者は、UL、お客様、または同僚に帰属する機密情報にアクセスできる場合があります。機密情報は資産です。機密情報にアクセスできる関係者は、その情報を適切に使用し、ULの業務に関連してのみ使用しなければなりません。ULにおいては、不注意または予想外の開示を含む無権限の開示から機密情報を保護することが、関係者に求められ、義務付けられています。

機密情報の開示報告

機密情報が不正に開示された場合（その理由または態様にかかわらず）、ULは、開示された情報を速やかに監督官庁やその保有者に通知することを法的に要求される場合があります。ULの関係者は、適用されるポリシーに従って、機密情報の開示をすべて報告しなければなりません。

インサイダー取引

投資家が企業の有価証券を購入、売却、保持を決定する上で重要と考える企業の機密情報は、「内部情報」とみなされます。内部情報に基づいて会社の証券を売買し、個人的な金銭的利益のために内部情報を使用すること（「インサイダー取引」）は多くの国で違法であり、証券取引を行う第三者に内部情報を提供した者も法的責任を問われるおそれがあります。取引先企業の内部情報を保有している場合、内部情報を入手した時点から、その情報が適切に公開されるまでは、その企業の有価証券の取引またはその取引を行うことを助言することを控えなければなりません。インサイダー取引は証券取引法違反であり、不公正であるため誠実性の基準にも違反します。ULの関係者は、インサイダー取引に関与してはならず、また、投資を行う可能性のある家族などの第三者に機密情報を提供してはなりません。



機密情報にアクセスできる関係者は、その情報を適切に使用し、ULの業務に関連してのみ使用しなければなりません。

人と地球に対する敬意

ULは、より安全で持続可能な世界の実現に向けて、地球にポジティブな影響を与えることに尽力するものとします。グローバルな企業として、ULは、すべての人の権利、尊厳、および私たちが共有する地球を尊重しています。

人権と公正な雇用慣行

ULは、従業員、お客様、およびULが関わるすべての関係者に対して、敬意と尊厳をもって公正に接するものとします。ULは、多様な人材の才能を十分に発揮できる環境を創造し、維持するものとします。

差別やハラスメントの禁止

ULは、人種、宗教、年齢、性別、性的指向、性同一性または表現、または法により保護されているその他の特性など、人の特性に基づいて、いかなる種類の差別またはハラスメントも容認しません。ULの関係者は、差別行為または嫌がらせ行為を行うことを禁止されています。

労働法の遵守

ULおよびその関係者は、自国や地域社会の法を遵守します。ULは、強制または非自発的な労働、児童労働、換言すると15歳未満の者またはその国もしくはその司法管轄区における法定雇用年齢に達しない者による労働力を使用しないものとします。ULは、適用法に基づき、労働者に対して対価を公正に支払うものとします。

職場の安全

ULは、安全、安心かつ環境に配慮した方法で業務を遂行しています。ULは、傷害のリスクを最小限に抑える、環境、健康、安全（EHS）に配慮した作業慣行および安全な作業環境を構築・維持することに努めるものとします。ULの関係者においては、ULのEHS方針と規則を理解し遵守することが、求められ、義務付けられています。

職場の安全に関するリソースと報告書

ULは、職場の安全のためのリソースを提供するものとします。施設内の人々の安全を確保するために、ULは、UL方針に反する行為や状況、およびすべての事故、怪我、危険行為、危険な作業条件を、適用される方針に従って責任者である管理者に報告することが、ULの関係者に求められ、義務付けられています。

危険行為の禁止

ULは、職場に脅威を与え、または危険をもたらす行動を禁止しています。ULの関係者、お客様、サプライヤー、その他の訪問者その他あらゆる者に対する暴力行為、脅迫、暴言、威嚇、有害行為、または資産に対する損傷もしくは破壊行為は許容されません。薬物およびアルコールは思考力を低下させ、職場にリスクをもたらすおそれがあります。ULの関係者は、アルコールおよび薬物の使用について適用される現地法を遵守することが求められ、義務付けられています。また、従業員は、適用される薬物およびアルコールに関する方針および規則を遵守しなければなりません。

ULは、傷害のリスクを最小限に抑える、環境、健康、安全に配慮した職場環境を構築・維持することに努めるものとします。

持続可能性および環境

ULは、お客様、ステークホルダー、地域社会がより良い世界を実現するために力を発揮できるような行動、サービス、提案を提供することにより、持続可能性に基づくグローバルな文化を推進することに尽力するものとします。透明性、コミュニケーション、企業市民意識をもって、持続可能な未来への道を歩むために、ULの関係者は影響を及ぼし、他社に情報を提供し鼓舞するよう努めるものとします。

環境についての取り組みと環境法の遵守

ULは、天然資源を保全し地球環境を保護するための科学的根拠に基づいた目標に向かって取り組むものとします。ULおよびその関係者は、私たちが業務を行い、生活している国や地域社会の法律を遵守します。ULは、適切な廃棄物の最小化および転換を奨励し、現地の基準に従って事業から排出される廃棄物を適切に処理し、適用される規制および基準を遵守するものとします。

リソース

ULでは、持続可能性協議会を通じて、従業員が持続可能性の取り組みに参加する機会を提供しています。

UL.com

ULおよびULのロゴはUL LLCの商標です。© 2020

0820